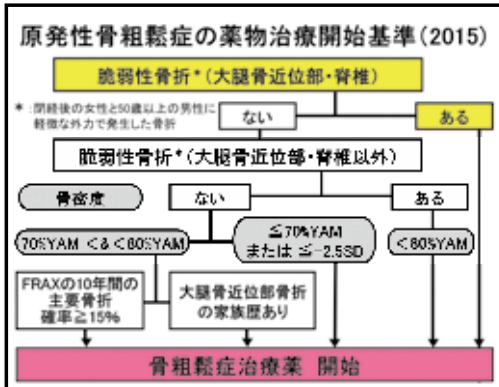




れんけい

題字：松尾信彦書

AI が画像診断を支援する近未来に備え、骨粗鬆症の治療も地域連携体制で！ 当院で見つけた患者さんも よろしくお願ひします！ リハビリテーション科 診療科長 本田 透



日本骨粗鬆症学会のガイドライン（2015年版）によれば脊椎に脆弱性骨折がある患者さんは骨粗鬆症の薬物治療対象です。

当院では、中高年の入院患者さんの約80%が胸・腹部CT検査を受けており、院内での調査結果を元に試算すると、1年間で初回入院患者さんの約2,800人に脊椎圧迫骨折が見つかります。

骨粗鬆症は、骨折・寝たきりの原因となるばかりでなく、生活習慣病と相互に影響して悪化していきますので、生活習慣病の患者さんに骨粗鬆症があればこれも治療しておきたいです。

また、わが国では国民の1/2ががん罹患し、1/3ががんで亡くなります。がん患者さんの多くに骨粗鬆症があり、適切な骨粗鬆症対策は患者さんの治療経過に有利に作用します。

2017年秋以降に当科が関わらせて頂いた患者さんのうち、胸・腹部CTで脊椎圧迫骨折がある約400名に骨粗鬆症対策を行いましたところ、以下の3点がわかりました。

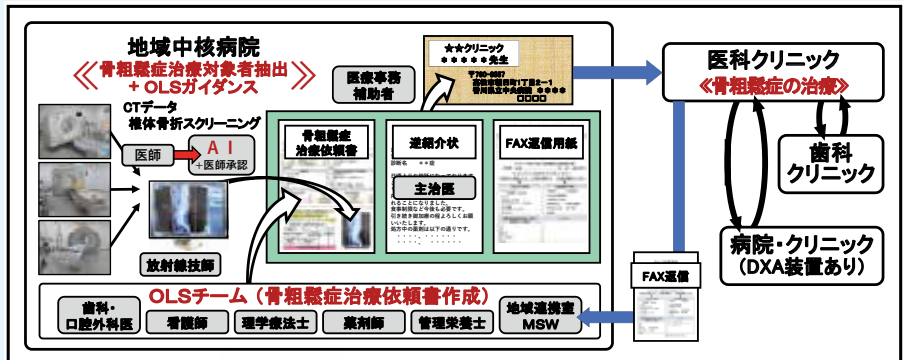
1. 脊椎変形が明らかな患者さんの多くには、既に地域の先生方が骨粗鬆症治療薬を始めて下さっている。
 2. 骨粗鬆症の薬物治療をお勧めすると、ほとんどの患者さんが前向きに受け入れられる。
 3. 地域の先生方に骨粗鬆症の治療をお願いすると、治療を開始し、また、引き継いで下さる。
- これらのことから、『地域中核病院で既存の画像データを利用して見出した多くの骨粗鬆症治療対象患者さんの治療を地域の先生方にお願いする』方法は、骨粗鬆症の治療体系の一つになり得ると考えます。

一方、当院には多職種による骨粗鬆症リエゾンサービス (Osteoporosis Liaison Service; OLS) チームがあります (「れんけい」第73号で紹介)。大腿骨や脊椎などの脆弱性骨折で入院した患者さんに対して、主治医の指示のもと14名の骨粗鬆症マネージャー有資格者が中心となり、骨粗鬆症の治療の意義の説明、治療薬の導入、転倒予防対策、栄養指導などを行ない、実績を上げてきています。

医療分野でAI (Artificial Intelligence; 人工知能) が目覚ましく発達し、胸・腹部CTでの癌や生活習慣病などの診断を高速・高精度に支援する時代が来ています。AIが脊椎圧迫骨折も検出する近未来を想像してみませんか。そうなれば、地域中核病院では骨粗鬆症治療対象患者さんが続々と見つかることになり、個々の担当医が、外来でこれらの大勢の患者さんの骨粗鬆症にも対応し続けることは不可能です。これらの患者さんに対応するには、院内の多職種協働体制と地域連携体制が必要になります。

現在はOLSの活動には診療報酬はありません。しかし、今年も骨粗鬆症マネージャー資格取得希望者が10名おります。まず入院患者さんを対象に、OLSの助けを得て大勢の患者さんの骨粗鬆症の治療を地域の先生方にスムーズにお願いする体制を作りたいものです。歯科の先生方にも、骨吸収抑制剤による顎骨壊死の予防のため、治療開始前に、また、定期的にご診察頂く患者さんが増えると思います。

骨粗鬆症治療対象患者さんを、できるだけ見逃さずに治療するために、御協力をよろしくお願ひ致します。



information

腎臓病教室「ほじほじの会」のご紹介

腎センター 看護師長 小林 真弓

「ほじほじの会」…名前の由来は、保存期（ほ）腎不全を（じ）保持する（ほじ）会です。

春期、秋期、冬期コースがあり、1階講堂で年3クール（計9回）開催しています。医師から腎臓のはたらきや大切さについて、管理栄養士から減塩食・低蛋白食・カリウム制限について、薬剤師から腎臓の薬について、看護師からデータの読み方や透析の医療費についてなど、腎臓を守る生活やコツを分かりやすくお話ししています。

また講義だけでなく、理学療法士と一緒に骨の健康を守る「ロコモ体操」を行ったり、山崎医師&看護師による「ほじほじ寸劇」など、レクリエーションは参加者の皆様に好評をいただいております。

腎機能が低下している方やそのご家族はもちろん、入院中、外来通院中、他病院の方など、腎臓について気になる方は、どなたでも参加いただけます。さらに、腎臓について興味があり勉強したいスタッフも遠慮無くご参加ください。単回参加や繰り返し参加も大歓迎です。腎臓に関わる様々なスタッフが一丸となって、慢性腎臓病と上手につきあう方法をお手伝いしています。腎臓病教室の日程は院内ポスターをご覧ください。



NEWS

3/17 ピースの会 (KPD サークル) を開催しました

9東病棟 嶋本 靖子

このピースの会は、当院の腹膜透析を担う医師・看護師が、地域の医療スタッフを対象に年に1度開催している研修会です。5回目を迎えた今年は、「腹膜透析患者さんの出口部ケアについて」というテーマで、地域の訪問看護ステーション・介護施設・サテライトクリニックから、看護師・ケアマネージャーなど、計15名の方が参加されました。

まず、医師・看護師から出口部管理の重要性について、出口部・トンネル感染、腹膜炎の現状とケアの方法について講義を行いました。その後、グループに分かれ、模型の出口部に対してケアの実践、腹膜透析のデモンストレーションを行いました。

参加者のほとんどが、実際には出口部ケアに介入しておらず、ケアは患者あるいはご家族に任せているという状況であったため、模型を使っての実践では、皆さん非常に熱心に取り組まれていました。そして、「今回の学びは、感染防止、ひいては緊急入院防止の観点からも非常に重要であり、大変勉強になりました。」と好評をいただきました。

現在、当院における腹膜透析患者数は50名となり、公的基幹病院としては、全国1位の導入数となっています。今後さらに増加すると思われる腹膜透析患者さんが、感染症を起こすことなく、安心して自宅で生活できるよう、そのために必要な支援が適切に受けられるよう、今後もピースの会を継続していく予定です。院内の皆さんも是非お気軽にご参加ください。ためになること間違いなしです！



NEWS

ロボット手術保険適用範囲が拡大しました

院長補佐 呼吸器外科 青江 基



2012年4月から前立腺悪性腫瘍手術に対してロボット（ダビンチ）手術が保険適用となりました。当院では、新病院移転に合わせて2014年にダビンチSiを導入。当初は、自費診療として手術を行ってきましたが、2014年12月より前立腺悪性腫瘍手術を、その後2017年10月より腎悪性腫瘍手術の保険診療を開始しています。2018年4月には、肺悪性腫瘍手術、直腸切除・切断術、噴門側胃切除術、胃全摘術、縦隔腫瘍手術などに保険が認められるようになり、当院でも2018年7月に肺悪性腫瘍手術、噴門側胃切除術、胃全摘術、胃切除術が、2019年3月には直腸切除・切断術が、

2019年4月には膀胱悪性腫瘍手術が保険診療で行えるようになりました。泌尿器科、消化器外科、呼吸器外科では、ダビンチの術者資格を持った9名の医師が、従来の内視鏡手術よりさらに低侵襲のロボット手術を行っており、患者さんに最先端の医療を提供しております。月平均ロボット手術数も2017年2.7件、2018年9.3件、2019年13.0件と徐々に増加し、日常的な手術になってきています。このような低侵襲手術を保険診療で受けたいと希望される患者さんがおられましたら、是非、当院担当科までご紹介頂ければ、幸いです。

NEWS

薬剤師外来「がん薬物療法外来」をはじめました

薬剤部 三ツ井 瑞菜

当院では専任薬剤師を通院治療センターに配置し、外来での抗がん剤治療に関わってきました。平成30年8月からは予約システムを導入し、がん患者さんを対象に、がん薬物療法認定薬剤師による「がん薬物療法外来」（以下、薬剤師外来）を開始しました。開始以来、200名近くの患者さんに本外来をご利用頂いております。

点滴を含む治療を受けられる患者さんは通院治療センターで、内服のみの患者さんは医師診察の前か後に外来の面談室で面談を行っています。治療を開始する患者さんには、治療のスケジュール、薬剤の使い方、現われやすい副作用とその対策方法の説明、併用薬との相互作用の確認、治療内容や副作用対策のポイント記載した「お薬手帳シール」の提供等を行っています。治療を継続している患者さんには、内服状況や副作用の確認を行い、副作用対策のセルフケアの説明や主治医へ処方提案をしています。場合によっては生活上の不安や主治医に話しにくいこともお話し頂いて、うまく治療につなげられるように各スタッフとの連携も図っております。

なお、内服抗がん剤のみの患者さんが薬剤師外来を利用するには、主治医からの依頼・予約が必要になりますので、ご利用の際は主治医までご相談ください。

ますます高度化するがん治療をより効果的、安全に実施するため、薬剤師の視点でサポートしていきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



がん薬物療法認定薬剤師

三ツ井 瑞菜

中山 順子

検査のはなし ~輸血部の仕事~

中央検査部 副技師長 香川 恵美子

輸血に関連する検査は、ABO、RhD 血液型、不規則抗体スクリーニングおよび交差適合試験などがあります。適切な方法・手技で、適合血の選択を行い、不適合輸血による溶血性輸血副作用を防止することに努めています。

血液型検査なんて簡単じゃん、な事ばかりではありません。時に、オモテ検査とウラ検査が不一致だった場合、反応時間2時間かけ、判定するまでに3~4時間要する事があります。

また不規則抗体スクリーニングでは、まれに適合率が数パーセントの抗体を持つ人がいます。その場合、血液製剤は血液センターを介して、遠方より空輸で届けてもらうこともあります。

そして、血液製剤を管理する上で、廃棄製剤が出ることに大変心が痛みます。平成30年度は、RBC44単位、FFP20単位、PC30単位の廃棄がありました。今年度こそ、廃棄製剤「0」に近づけたい。皆様、是非ご協力をお願いいたします。



コラム お通じにまつわるうんちく話(その8)

消化器内科 部長 田中 盛富

今回は、少し視野を広げて私たちの「うんち」をみつめなおしましょう。太陽から「うんち」までの流れを、食物繊維を中心に簡単に追ってみます。

植物は、太陽などの光エネルギーを使って、水と二酸化炭素を利用してブドウ糖を合成します。ブドウ糖の組み合わせでデンプンやセルロースなどが生成されます。セルロースは細胞の壁を作る成分で、植物が成長するのに欠かせないものです。

私たちがデンプンやセルロースが含まれた穀物や野菜を食べると、デンプンは小腸で消化されブドウ糖として吸収され、私たちのエネルギーになります。一方、セルロースもブドウ糖から構成されていますが、人間はセルロースをブドウ糖に分解する酵素をもたないため、デンプンとは異なり小腸では消化も吸収もされません。

小腸で消化されないような糖類（炭水化物）を食物繊維といい、セルロースがその代表です。セルロースは、大腸で腸内細菌により分解され酪酸などの有用な物質を生み出し、最終的にうんちが形成されます。よい「うんち」には、豊富な食物繊維が必要なのです。ちなみに、セルロースは地球上でもっとも多い炭水化物ですが、人間を含め、セルロースを自分自身で消化できる生物はほとんどなく、草食動物も消化管内の細菌の力を借りてセルロースを利用しています。

というわけで、わたしたちが、太陽のエネルギーが詰められたセルロースを利用できるのは大腸の中の腸内細菌の力によるのです。太陽と大腸、漢字が似ていますが、太陽と大腸は食物繊維と腸内細菌で結びつけられる関係なのです。

次回もうんちと腸内細菌にちなんだお話の予定です。



医療セミナーを開催します

日 時：令和元年6月27日（木） 19時00分～	日 時：令和元年7月25日（木） 19時00分～	日 時：令和元年8月29日（木） 19時00分～
場 所：香川県立中央病院 1階講堂	場 所：香川県立中央病院 1階講堂	場 所：香川県立中央病院 1階講堂
テーマ：「令和時代の潰瘍性大腸炎・クローン病診療」	テーマ：「骨髄増殖性腫瘍」	テーマ：「患者にやさしい腹膜透析～腹膜透析率日本一の香川県の現状と当院での取り組み～」
講 師：消化器内科 部長 高橋 索真	講 師：血液内科 部長 脇 正人	講 師：腎臓・膠原病内科 診療科長 山崎 康司

■ 医師の人事異動 4月1日付転入

①出身大学 ②卒業年 ③趣味 ④抱負



稲生 祥子 (消化器内科)

- ①岡山大学
- ②平成 23 年
- ③旅行
- ④地域の皆様のお役に立てるよう、精一杯尽力させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。



原田 圭 (消化器内科)

- ①島根大学
- ②平成 28 年
- ③サッカー、料理
- ④一生懸命頑張りますので、よろしく願い申し上げます。



伊藤 太一 (呼吸器内科)

- ①岡山大学 ②平成 29 年
- ③バスケットボール
- ④本年3月で初期研修を終了し、香川県立中央病院で内科の研鑽を積んで参ります。呼吸器内科として真摯に診療に当たらせていただきますので、よろしくお願い申し上げます。



高木 航 (循環器内科)

- ①鹿児島大学
- ②平成 22 年
- ③スポーツ観戦
- ④一生懸命がんばります。どうぞ宜しくお願いいたします。



加集 萌 (小児科)

- ①藤田保健衛生大学 (現 藤田医科大学)
- ②平成 23 年
- ③手芸、読書
- ④地域医療に貢献できるよう努力してまいります。よろしくお願いいたします。



高橋 優太 (消化器・一般外科)

- ①岡山大学
- ②平成 23 年
- ③サッカー
- ④皆様のお役に立てるよう、一生懸命がんばります。どうぞよろしくお願い致します。



鹿谷 芳伸 (呼吸器外科)

- ①岡山大学
- ②平成 22 年
- ③テニス
- ④地域の皆さまのニーズに応える医療を目指します。よろしくお願い致します。



戸嶋 圭 (乳腺・内分泌外科)

- ①岡山大学
- ②平成 29 年
- ③旅行
- ④頑張りますのでよろしくお願い致します。



廣瀬 友彦 (整形外科)

- ①自治医科大学
- ②平成 16 年
- ③スポーツ観戦
- ④一所懸命がんばります。



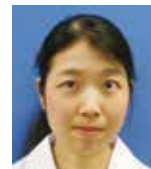
久保田 耕作 (整形外科)

- ①香川大学
- ②平成 28 年
- ③ドライブ
- ④一生懸命頑張ります。よろしく願いします。



平野 恵里子 (形成外科)

- ①大阪医科大学
- ②平成 29 年
- ③テニス
- ④様々な経験を通して形成外科医として成長できればと思っています。よろしくお願いします。



西本 めぐみ (リハビリテーション科)

- ①岡山大学
- ②平成 18 年
- ③美味しいものを食べる
- ④患者さんや先生方のお役に立てるようがんばります。よろしくお願いします。



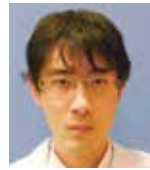
松尾 聡子 (泌尿器科)

- ①ハンガリー国立セゲド大学
- ②平成 27 年
- ③音楽鑑賞、読書、ヨガ
- ④まだまだ至らぬ点も多いですが、精一杯頑張りますので、よろしくお願いいたします。



大川 広 (放射線科)

- ①岡山大学
- ②平成 22 年
- ③旅行
- ④がんばりますので、よろしくお願いいたします。



伊藤 慶昭 (麻酔科)

- ①鳥取大学 ②平成 28 年
- ③読書
- ④昨年は岡山大学病院でお世話になっておりました。まだまだ至らない点も多いですが、少しでも皆様のお役に立てるよう精一杯がんばりたいと存じます。なにとぞよろしくお願い申し上げます。



山本 智美 (へき地医療支援センター)

- ①自治医科大学
- ②平成 22 年
- ③ピアノ
- ④微力ですが、頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。



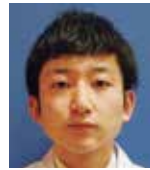
上枝 舜治 (研修医)

- ①岡山大学
- ②平成 31 年
- ③釣り
- ④初心を忘れず、1日1日頑張っていきます。



栗山 千晶 (研修医)

- ①香川大学
- ②平成 31 年
- ③おいしいものを食べる
- ④至らない点が多々あり、ご迷惑をおかけすることもありますが、ご指導よろしくお祈いします。



近藤 大祐 (研修医)

- ①徳島大学
- ②平成 31 年
- ③散歩、ランニング、ドライブ
- ④しっかり勉強しながら、地域の医療に貢献していきたいと思ひます。ご指導よろしくお祈いいたします。



妹尾 知哉 (研修医)

- ①岡山大学
- ②平成 31 年
- ③ドライブ
- ④日々成長できるように、精一杯努力していきたいと思ひます。ご指導よろしくお祈い致します。



豊田 裕士 (研修医)

- ①琉球大学
- ②平成 31 年
- ③水泳
- ④日々努力で頑張ります。ご指導よろしくお祈いします。



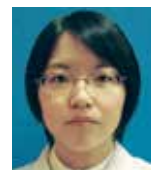
奈田 知明 (研修医)

- ①岡山大学 ②平成 31 年
- ③野球、ピアノ、ヴァイオリン、オーディオ鑑賞
- ④学ぶべきことは多いですが、日々成長できるように地道にがんばります。ご指導よろしくお祈いします。



藤原 亮太 (研修医)

- ①岡山大学
- ②平成 31 年
- ③卓球
- ④日々の診療を大事にして精進していきたいと思ひます。



松本 眞琴 (研修医)

- ①香川大学
- ②平成 31 年
- ③テニス
- ④何事も積極的にとりくんでがんばります。よろしくお祈い致します。



村井 篤弥 (研修医)

- ①香川大学
- ②平成 31 年
- ③海外ドラマ・映画鑑賞、外食、陸上競技、水泳
- ④周囲の人間全ての心中に向き合う努力を怠らず、様々な課題に取り組み続けていきたいです。



浮田 健太郎 (研修医)

- ①自治医科大学
- ②平成 31 年
- ③ドライブ
- ④早く一人前になれるように、日々努力していきます。



西山 将 (研修医)

- ①自治医科大学
- ②平成 31 年
- ③剣道、ネットサーフィン
- ④まずは初期研修の2年間を無事に修了できるように、心と身体に気を付けながら病院に貢献して参ります。



雑賀 将斗 (研修医)

- ①長崎大学
- ②平成 31 年
- ③野球、旅行
- ④日々精進してまいりますのでご指導、ご鞭撻のほど宜しくお祈い致します。

6月1日付転入



水尾 杏海 (小児科)

- ①香川大学
- ②平成 27 年
- ③テニス
- ④子どもたちの笑顔のために頑張ります。

